

『世界』から選ばれる磐越東線を目指して ～知る・楽しむ・巡る高付加価値化～

磐越東線活性化ワーキンググループ

観光チーム

郡山市 物江 献介

郡山市 原 貴史

田村市 小沼 仁美

いわき市 尾形 知樹

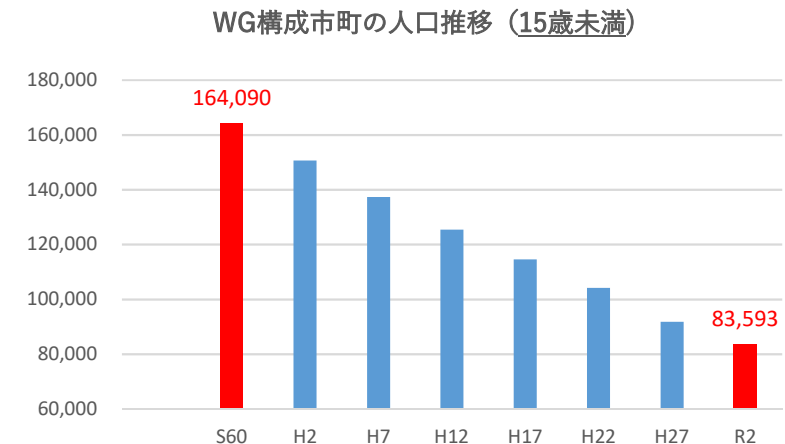
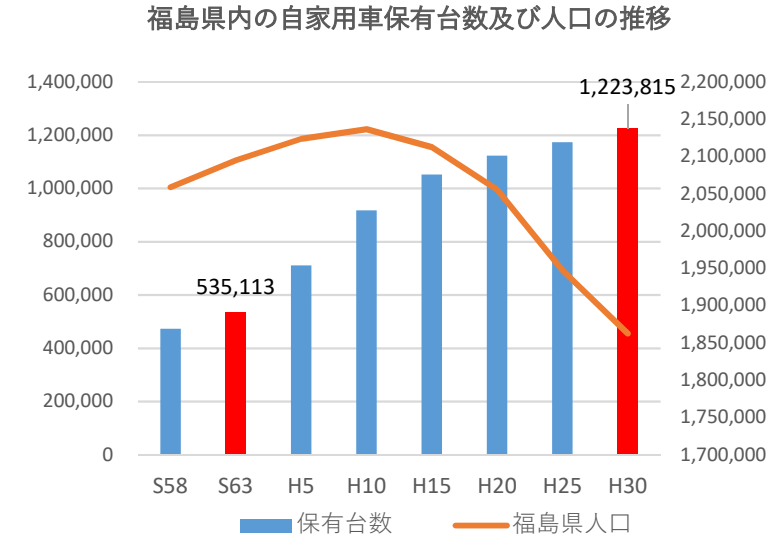
いわき市 山本 ゆい

福島県 柳田 彩美琴

福島県 大原 駿一

磐越東線の課題・現状

- 沿線自治体の人口減少・少子高齢化
- 学生以外の利用者が少ない
- 住民によるマイレール意識の欠如
- マイカーの普及、自動車依存
- 駅と目的地を結ぶ二次交通の不足
- 財源の不足により新たな投資が困難
- 駅の魅力が少ない
- 路線の認知度が低い（他地域）



求められる施策の方向性・解決策

- 新たな利用者の確保（自動車利用者、高齢者、学生以外）
- マイレール意識の醸成
- 二次交通の充実等による利便性向上
- 観光資源の発掘・PR
- イベント等による利用促進
- 魅力の発信
- 他地域の人に知ってもらう

事業内容

観光利用提案における「3つの柱」

磐越東線を

「知る」

- 沿線のイベントや観光資源の情報発信・PR
- 国内外へのモデルルート of 発信

「楽しむ」

- 磐越東線沿線の「食」を堪能
- 磐越東線だけ（オンリーワン）のイベント開発

「巡る」

- 駅⇔目的地を周遊可能な二次交通の確保
- サイクルツーリズムへの関心

福島・
日本・
世界から
選ばれる
ローカル線

事業提案

提案事業のグループ分け

	柱	区分	項目	事業内容	スパン		
					短期	中期	長期
提案事業	知る	乗車目的の創出 楽しむ	①磐越東線 情報発信・PR	磐越東線の魅力を再発掘し、その魅力を国内外へPR	魅力の「見える化」 (モデルプラン作成・SNS 映えスポットのマップ化・ PR動画)	周遊ツアー造成 コンテスト実施 (フォト・クイズ)	
			②食・名産品 堪能事業	沿線の「食」を堪能できるプランやパッケージを開発	駅弁の開発 駅マルシェ	貨客混載	
			③磐越東線 ブランディング事業	磐越東線といえば「これ」といったイメージUPを実施	駅弁の開発 駅マルシェ	コンテスト実施 (フォト・クイズ) ネーミングライツ	企画列車 (ビア電、観光列車) ラッピング電車
	巡る	移動手段の確保	④二次交通 確保事業	周遊にあたり、ウィークポイントである二次交通を確保	サイクルツーリズム (サイクルトレイン、 シェアサイクル、レンタサイクル)		サイクリングコースの創設 ダイヤ改正 デマンドタクシー
	+α	付加価値	⑤その他	旅客以外の新たな高度利用策を連携		貨客混載 パークアンドライド	

①磐越東線情報発信・PR

内容	磐越東線情報ポータルサイト「ゆうゆうあぶくま」の構築
概要	沿線の観光情報・イベントを発信するサイト（インバウンドも視野に入れた）をポータルサイトを開設
効果	<国内> 沿線の魅力やイベント情報を一元的に発信 <海外> 多言語化も行い、海外からも「選ばれる」路線へ
事例	只見線ポータルサイト https://tadami-line.jp/
実施体制	主体：磐越東線活性化対策協議会 （各自治体・ＪＲ・地元団体から情報を集約し、発信）

①磐越東線情報発信・PR



日本の鉄道路線数：500以上



多様な情報が、多様な媒体に掲載
→「磐越東線」まで辿り着かない

ポータルサイト

ポータルサイトイメージ



ここを見れば
「磐越東線」の
すべてが分かる！

各種情報を一元的に発信
→磐越東線の情報発信力強化

①磐越東線情報発信・PR

内容	国内外へのモデルルートの発信	
概要	【一つの自治体で完結する場合】 沿線の自治体で作成している観光ガイドやマップを活用し、モデルルートを示す。	【複数の自治体を跨ぐ場合】 旅行会社に委託し、2つ以上の市町村の観光地を巡るモデルルートを示す。
効果	<国内> 移動時間や所要時間を事前に把握でき、訪れてもらいやすくなる。 <海外> 多言語化も行い、海外からも「選ばれる」路線になる	
事例	あぶ急沿線歩きガイドマップ	旅行ツアー
実施体制	主体：磐越東線活性化対策協議会 沿線の自治体	主体：旅行会社

①磐越東線情報発信・PR

初めて訪れる場合
公共交通機関の選択や
所要時間等がわかりにくい



「磐越東線」降車
後の進み方や目的
地から駅までが分
かる！

モデルルートがあることで、
行動がわかりやすい！！

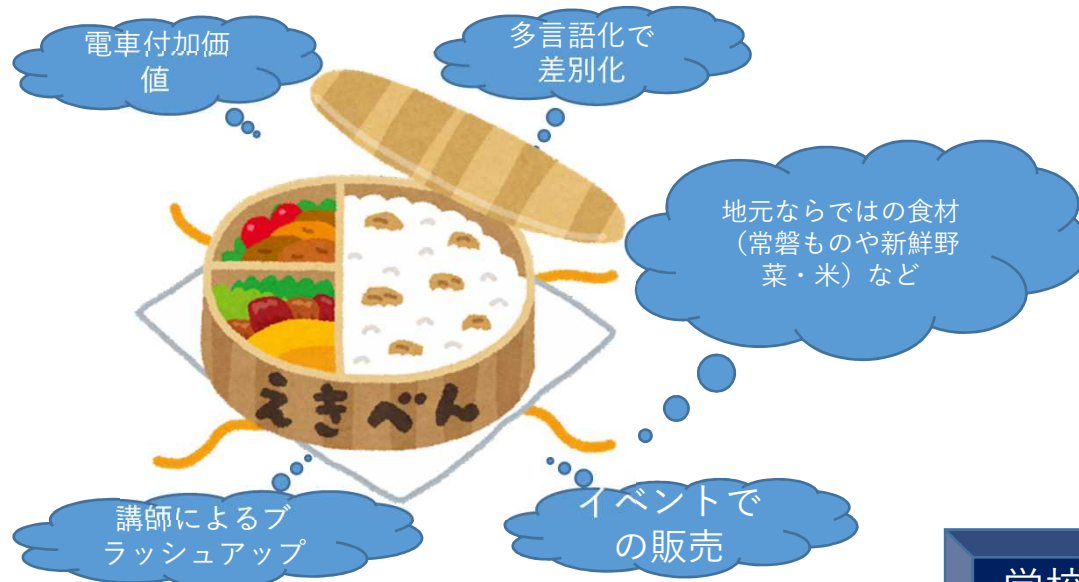
②食・名産品堪能事業

内容	駅弁の開発
概要	沿線の名産（常磐もの、クリームボックス、ビール）などをパッケージ化したオリジン弁当を作成
効果	地場産品の使用による地産地消 磐越東線沿線の産品のPR・活性化 観光列車などとの連携によるPR 高校や民間との協働事業、雇用促進
事例	予約制駅弁（小湊沢駅弁・五所川原駅弁） 大隈駅弁開発プロジェクト（企業公募・現在進行中） 五所川原第一高駅弁開発部
実施体制	地元高校、観光協会、飲食店、料理研究家（講師）、JR

②食・名産品堪能事業



駅弁公募（飲食店）



企業による開発・行政によるサポート→官民協働

学校との共同開発

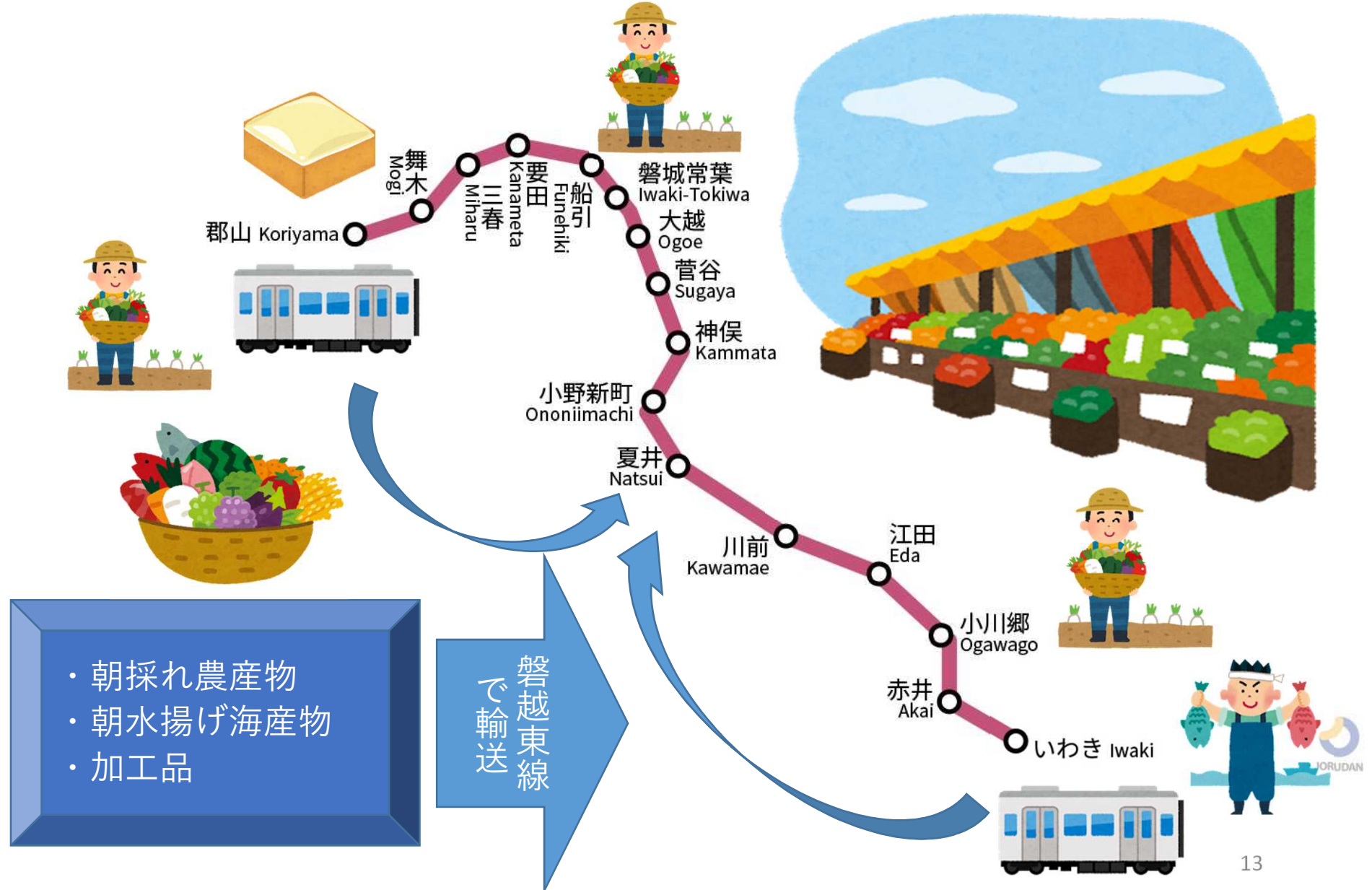


学校と料理研究家による開発を行い、プロの目線を学べる。また学生による開発ということで地元からも応援してもらう

②食・名産品堪能事業

内容	駅マルシェ
概要	駅前の広場や駐車場を活用し、磐越東線で輸送した沿線地域の食材や商品の販売等を行う。 1～2か月に1回程度、沿線市町村を回る形式で実施。 マルシェの他、キッチンカーや地元飲食店のブース等も設置。
効果	・住民や観光客が鉄道を利用して地域へ足を運ぶきっかけとなる。 ・駐車場がある駅で開催する場合、駐車場を会場とすることで、自然と鉄道利用を促すことができる。
事例	つばめマルシェ https://www.jrkyushu.co.jp/train/nimotsu/marche/ おうみマルシェ https://www.ohmitetudo.co.jp/file.jsp?id=9607
実施体制	・協議会：企画、PR ・JR：マルシェの開催、鉄道の運行 ・民間企業：チラシ、ポスターの作成

②食・名産品堪能事業



③磐越東線ブランディング事業

内容	企画列車（ビア電、観光列車）
概要	地元ビールや地元産の農産品を使用したイベント列車を運行する。 夏の時期に複数回運行する。
効果	・ 磐越東線の魅力や認知度の向上 ・ 地元産品のPR ・ 磐越東線と言えば「ビール」という新たなブランディング
事例	・ 近江ビア電 ・ 常磐線地酒列車 など 
実施体制	主体：磐越東線活性化対策協議会 イベント運営：民間委託あるいはJR関連会社

③磐越東線ブランディング事業



JR東日本ニュース



2023年7月7日
東日本旅客鉄道株式会社
水戸支社

トロッコ列車で乾杯！ 水郡線で納涼ビール列車を運行します！

JR東日本水戸支社では、キリンビール㈱とコラボレーションし、水郡線で運行する「快速 風っこ奥久慈号」の、一部車両を使用した納涼ビール列車を旅行商品として販売します。
キリンビールの人気商品「一番搾り」で乾杯し、キリンビール飲み比べが楽しめます。また、水郡線沿線の木内酒造㈱の常陸野ネストビール3種と生ハム「常陸野ハム工房 BARREL SMOKE」を中心としたおつまみなどをご堪能いただけます。
水郡線「快速 風っこ奥久慈号」は、開放感あふれる車両から、車窓一杯に広がる田園や里山など水郡線ならではの古き良き日本の風景を楽しめる列車です。
この機会にぜひ、ビールを楽しみながら水郡線の魅力をご存分にお楽しみください！

1 商品概要

- (1) 商品名 トロッコ列車で乾杯！風っこ 奥久慈号納涼ビールまつり
- (2) 出発日 2023年8月26日(土) / 27日(日)
- (3) 出発駅 【出発駅】水戸駅 ～ 常陸大子駅(自由行動)～【到着駅】水戸駅
- (4) 車 両 びゅうコースター風っこ ※1号車のみ団体専用の車両となります。

【びゅうコースター風っこ イメージ】



【キリンビールイメージ】



磐越東線を「ビール」電車に！

③磐越東線ブランディング事業

内容	ラッピング電車
概要	磐越東線（あるいは沿線自治体）の魅力などのデザインを車体に塗装する。 （例：フラガールのイラストなど）
効果	・ 磐越東線の魅力や認知度の向上 ・ 磐越東線への愛着
事例	・ 磐越西線（赤べえ）
実施体制	主体：磐越東線活性化対策協議会 デザイン：一般公募 or デザイン学校の生徒に依頼

④二次交通確保事業

内容	サイクルツーリズム（サイクルトレイン、シェアサイクル、レンタサイクル）
概要	磐越東線を観光目的で利用した方が、自転車を利用して目的地（観光地）まで行きやすい環境を整備。
効果	各駅から観光地までの移動手段を確保できる。 道路や駐車場の混雑を避けられる（三春の滝桜等）。
事例	【サイクルトレイン】水郡線、弘南鉄道（青森県） 【レンタサイクル】川前駅（ふれあい交流館 min-nano）
実施体制	【サイクルトレイン】JR（ドア部に固定ベルトを設置（DIY）、ホームに簡易スロープを設置） 【レンタサイクル】磐越東線活性化対策協議会（自転車購入費・維持費の補助、メンテナンス講習会の実施） 民間事業者（自転車の維持管理、貸出）

④二次交通確保事業



サイクルツーリズム



④二次交通確保事業

内容	カーシェアリング実証事業
概要	有人駅に環境に配慮したE Vカーシェアスポットを配置し、自動車での移動手段確保します。
効果	・ 磐越東線のウィークポイントである二次交通を確保 ・ 「駅」を軸にした周遊型観光の実現
事例	・ 只見線沿線のカーシェアリング実証事業 ・ タイムズカーレンタル
実施体制	沿線自治体・ J R

④二次交通確保事業



駅⇄目的地を結ぶ移動手段が無い
→鉄道を利用した観光に繋がらない

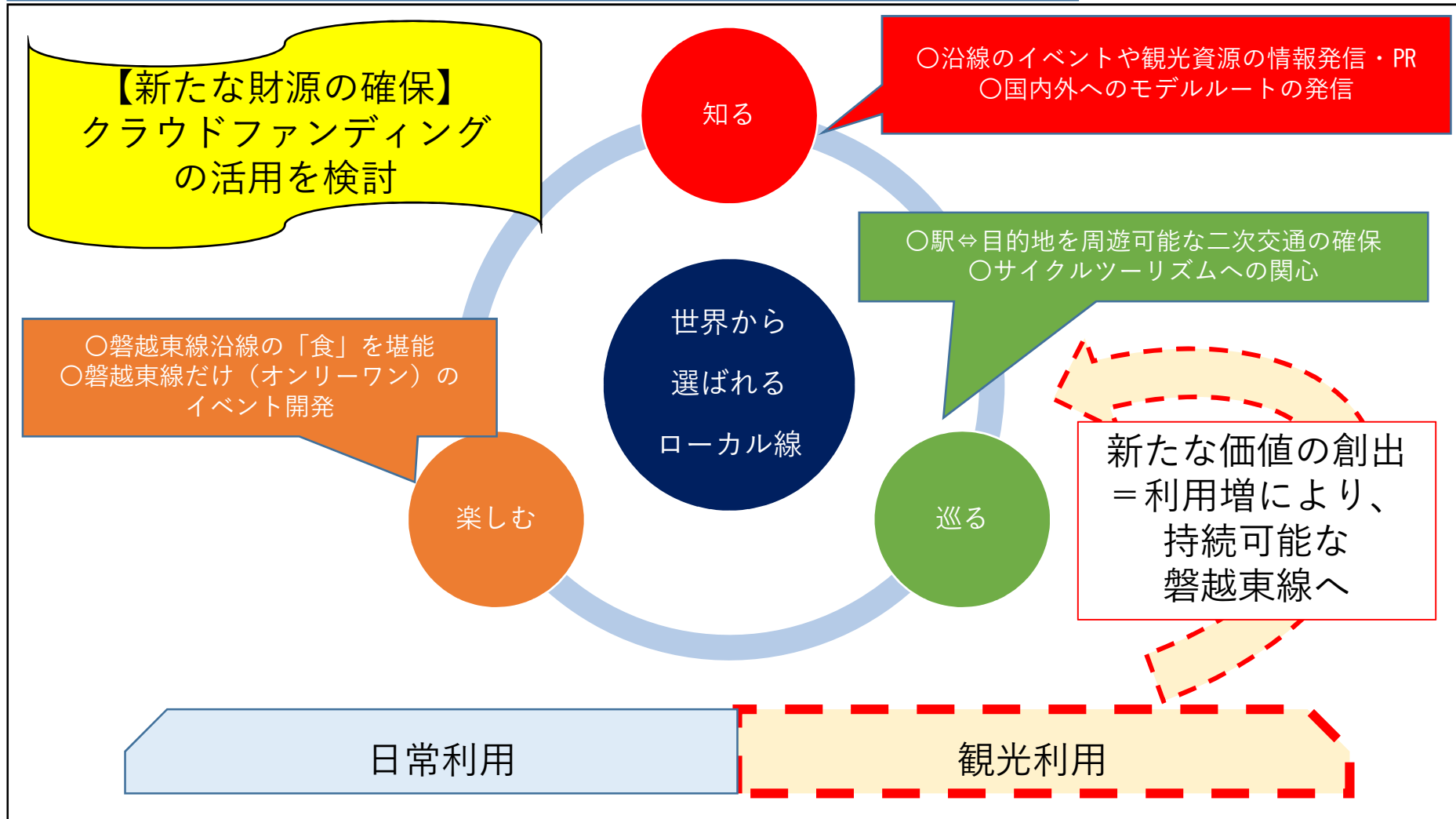
カーシェア



ウィークポイントである二次交通
を確保しつつ、「駅」を軸にした
周遊型観光の展開

『世界』から選ばれる磐越東線を目指して

磐越東線の観光活用による高付加価値化



ご清聴ありがとうございました。

